

令和4年第3回山元町議会定例会 一般質問通告一覧

令和4年9月2日（金）・9月5日（月） 午前10時 開会

質問日	No.	通告者	件名	答弁者
9月2日 （金）	1	大和 晴美	1 運転免許証の自主返納について 2 サニタリーボックスの設置促進について	町長
	2	菊地 康彦	1 町の活性化について	町長 教育長
	3	高橋真理子	1 空き家等対策について 2 公営住宅長寿命化計画について	町長
9月5日 （月）	4	品堀 栄洋	1 インボイス制度の導入に伴う町の対応について 2 やまもと「ひまわり祭り」の今後の対応について	町長
	5	伊藤 貞悦	1 中学校の運営について 2 これからのまちづくりについて	町長
	6	岩佐 孝子	1 今後のまちづくりについて 2 活気あふれる地域づくりを目指して	町長
	7	遠藤 龍之	1 行政執行体制の充実に向けて 2 町営住宅（災害公営住宅含む）事業の取組について 3 入札、契約制度について	町長

（7人 14件）

通告番号	1	4番 大和 晴美 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 運転免許証の自主返納促進について</p> <p>(1) 高齢者の運転による痛ましい自動車事故を無くすため、交通安全啓発・実践対策として、運転免許証の自主返納をした方にシニアカー購入費補助をする考えはないか。</p>	町 長
<p>2 サニタリーボックスの設置促進について</p> <p>(1) 病気や加齢による尿漏れで吸水パッドを使う男性が増えてきていることから、公共施設等の男性トイレにサニタリーボックスを設置する考えはないか。</p>	町 長

通告番号	2	11番 菊地 康彦 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 町の活性化について</p> <p>東日本大震災後、初の首長交代があり、町民は新町長に大きな期待をよせ、施策に興味津々、一挙手一投足に注目しております。</p> <p>就任後まだ数ヶ月ではありますが、今後、町の活性化について以下の項目を伺います。</p> <p>(1) 人口減少・少子高齢化について、どの様な対策、施策を考えているのか。</p> <p>ア 人口減少対策について</p> <p>イ 婚活事業について</p> <p>ウ スポーツ少年団支援について</p> <p>エ 教育環境整備・学力向上について</p> <p>オ 高齢者施策について</p> <p>(2) 交流人口拡大についてどの様に進めるのか。</p> <p>ア 橋元町政の新たな進め方について</p> <p>イ 交流人口拡大のための「茶室」の活用について</p> <p>ウ 地域間連携について</p> <p>(3) 基幹産業の活性化についてどの様に考えているのか。</p> <p>ア 農業資材高騰に対する対応について</p> <p>イ ALPS処理水の海洋放出決定についての我が町の対応について</p>	<p>町 長</p> <p>教育長</p>

通告番号	3	6番 高橋 眞理子 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 空き家等対策について 2015年に「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が施行され、各自治体では条例の制定など様々な施策を実施し取り組んでいる。</p> <p>(1) 今後も増加すると見られ社会問題になっている空き家等対策において、本町の条例の制定を求む。 ア 今後の空き家等の利活用促進に向け、空き家等対策計画を策定する考えはないか。 イ 法定協議会を設置する考えはないか。</p> <p>(2) 町内の空き家・空き店舗の数等、最新の実態調査結果について、どのように認識しているのか。</p> <p>(3) 「空き家バンク」(空き家活用情報提供事業)の登録数が少ないのではと思われるが、促進に向け、具体的対策をどう講じていく考えであるか。</p> <p>(4) 「空き家バンク」のデータ更新や情報サイトの工夫はどのようにされているのか。</p> <p>(5) 宮城県宅地建物取引業協会や企業との協定締結はされたのか。</p> <p>(6) 企業版ふるさと納税をPRし、空き家をリフォームする等して有効に利活用する考えはないか。</p> <p>(7) 「地域おこし協力隊」を、空き家対策事業の戦力として専任し、利活用に取り組む考えはないか。</p> <p>(8) 国道6号沿いにある空き店舗については、どのように認識し、具体的対策をどう講じていく考えであるか。</p>	町 長
<p>2 公営住宅長寿命化計画について</p> <p>(1) 老朽化の進む4ヶ所の既存町営住宅の建造物について、どのように認識し、具体的対策をどう講じていく考えであるか。</p> <p>(2) 既存町営住宅に住む入居者の復興公営住宅への移転計画の実施策を、どのように講じていく考えであるか。また、移転の際の支援内容についての具体策を伺う。</p> <p>(3) 復興公営住宅の譲渡対象住宅の譲渡に向けた進捗状況を、どのように認識しているのか。</p> <p>(4) 復興公営住宅の目的外使用において、障がい者等のグループホーム施設として利活用する考えはないか。</p>	町 長

通告番号	4	2番 品堀 栄洋 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 インボイス制度の導入に伴う町の対応について</p> <p>(1) 令和5年10月に、消費税においてインボイス制度が導入される予定となっているが、町はインボイス制度に関する町民の理解や課題の現状を、どのように認識し、具体的対策をどう講じていく考えであるか。</p> <p>(2) 免税事業者であるシルバー人材センターの会員の皆さんへの影響・課題を、どのように認識し、その具体的対策をどう講じていく考えであるか。</p> <p>(3) 委託販売方式によって運営されている直売所やスーパー（販売店等）に出荷している免税事業者の農業者や漁業者（生産者等）への影響・課題を、どのように認識し、その具体的対策をどう講じていく考えであるか。</p>	町 長
<p>2 やまもと「ひまわり祭り」の今後の対応について</p> <p>(1) コロナ禍においても、我が町の交流人口拡大施策の一翼を担っている「ひまわり祭り」の今後（次年度以降）の在り方について町長の考えを伺う。</p>	町 長

通告番号	5	1 番 伊藤 貞悦 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 中学校の運営について 近い将来に予想される、部活動の「地域移行」について伺う。</p> <p>(1) 「地域移行」をどのように考え、今後どのような構想や計画のもと推進するのか。</p> <p>(2) 年次計画を含め、町や教育委員会の具体的な計画は進んでいるのか。</p> <p>(3) 自治体間格差や保護者負担の増加、部活動離れが懸念されるが、準備は万全なのか。</p> <p>(4) 早急にプロジェクトチームを組織し、対応する考えはないか。</p>	町 長
<p>2 これからのまちづくりについて 「まちづくり」は「ひとづくり」である。10年先、20年先、50年先の山元町を考えたとき人材の育成に先行投資すべきと考えるが、具体的にそのような計画はあるのか。</p> <p>(1) 震災や毎年の地震、さらに大雨被害やコロナ感染症と町民は心身共に疲弊している。それでも「住むならやっぱり山元町」のスローガンを信じて、ひたすら前向きに顔を上げ前進している。町民の支えになるような「明るい施策を」官民一体で考えられないか。</p> <p>(2) 町職員に「笑顔が」見られるようになってきたが、自信を持つまでには至っていないよう感じる。職員の心身のリフレッシュと研修に時間と費用を用いて、見聞を深める工夫が必要と考えるが、構想や計画について伺う。</p> <p>(3) 次代を担う若者の成長までを繋ぐ、人生経験豊富な熟年層の活用についての構想や計画について伺う。</p>	町 長

通告番号	6	9番 岩佐 孝子 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 今後のまちづくりについて 移住定住促進事業により、人口減少率は予想より緩やかな状態となっている。 しかし、若者や子育て世代が「暮らしたい」「住みたい」という環境整備を更に推進していかなければならないのではないかと。</p> <p>(1) 子育てしやすい環境整備するための条件として、新たに「保育所を建設」する考えはないか。</p> <p>(2) 地域おこし協力隊等の人財を活用した雇用を創出し、地域活性化につなげる考えはないか。</p>	町 長
<p>2 活気あふれる地域づくりを目指して 町内には産業、スポーツ、歴史、文化などの経験豊富で知識豊富、造詣が深い多くの人財が多い。 この豊富な財産を町政に活用していく必要はないか。</p> <p>(1) 町の100年後を見据えた構想・計画策定するための委員会の設置や懇談会の開催をしてはどうか。</p> <p>(2) 住民の声を聞き、町政に反映するため「町民との懇談会」、「子ども議会」等を開催する考えはないか。</p>	町 長

通告番号	7	8番 遠藤 龍之 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 行政執行体制の充実に向けて 復旧・復興事業の完了時期を迎え、これまでの他自治体からの派遣職員がなくなることも予想されるなか、既存の職員による執行体制での対応が求められている。 今後の事務事業の執行体制のスムーズな移行に向け、人事管理、行政組織機構等の確立が求められているが、これまでの取組の現状と今後の対応は。</p>	町 長
<p>2 町営住宅（災害公営住宅含む）事業の取組について 町の総合計画では、町営住宅について、「適正な維持管理に努め、居住環境の維持保全に努める」としているが、</p> <p>(1) 町営住宅事業の取組の現状は。</p> <p>(2) 東日本大震災災害公営住宅家賃対策補助事業は継続すべきでは。</p>	町 長
<p>3 入札、契約制度について 公正性、公平性、透明性、競争性が求められている入札、契約執行にあたって、町民から疑問が寄せられることが度々みられる。町民の利益優先の予算執行が求められるが、</p> <p>(1) 入札、契約執行について、これまでの取組状況は。</p> <p>(2) 最低制限価格の設定、事業規模を大きくしての対応等、最近の入札、契約執行に問題はないか。</p> <p>(3) 町発注公共事業における町内・町外企業それぞれの受注率、受注数、及び受注額は。</p> <p>(4) 現在の町の入札制度を見直す時期ではないか。</p>	町 長